

寒川小だより

NO. 893

令和7年1月24日

伸 樹

寒川小学校
発行者
学校長

今年度の合い言葉 自ら考え 夢中でチャレンジ、瞳かがやく寒川小！



学校教育目標

つよい かしこい うつくしい

- ・健やかで元気な子
- ・自ら学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・地域を愛する子



ボランティアの方々のおかげできれいになった花壇の花々がうれしそうです。

3学期も寒さに負けず、学習に運動に子どもたち、がんばっています！

6年生 ～ 茶道体験 ～

1月9日（木）、6年生が茶道体験を寒川公民館の和室で行いました。4名の先生方から、茶道の作法やその意味を教えていただき、日本の伝統文化の素晴らしさについて触れることができました。自分で点てた抹茶は、格別な味だったようです。茶道への関心も高まりました。



5年生 ～ 金融経済教育講座～

1月22日（水）、講師に金融広報アドバイザーの先生をお迎えし、金融経済教育講座を実施しました。お金の使い方や貯め方について教えていただきました。クイズにも楽しく取り組み、真剣に学習に取り組んでいました。未来の生き方にもつながる学習となりました。



田んぼの学校～ビオトープの様子～

毎朝、学校には、子どもたちだけでなく、水鳥たちがやってきています。ビオトープで、羽を休めているのでしょうか？多い日は、10羽以上の訪問があります。今年は、田んぼにも水をはり、水鳥たちの来校を歓迎しています。



避難訓練 ～備えあって憂いなし～

1月17日（金）、予告なしの避難訓練を実施しました。2時間目の休み時間に地震が発生し、理科室から火災発生という想定で行いました。子どもたちは、それぞれの場所から放送をよく聞いて状況を把握し、落ち着いて避難場所に集まることができました。



表彰 ～おめでとうございます～

◆給食週間作品 標語の部 1年 さん 2年 さん 3年 さん
4年 さん 5年 さん 6年 さん
リクエスト給食の部 最優秀賞 6年 さん
優秀賞 6年 さん、6年 さん

皆様からの貴重なご意見を来年度の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

令和6年度 学校教育アンケート 保護者の回答結果 (%)		
数字は「そう思う」「ややそう思う」の計		
	評 価 項 目	今 年 度
1	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	94
2	学校は、情報発信に努めましたが、学校の様子がよく分かった。	92
3	学校は、一人一人を生かす特色ある教育を行っている。	94
4	学校は、子どもの安全確保について、適切に指導や対応をしている。	89
5	学校は、学校の施設、花壇や掲示物など、教育環境を整えている。	89
6	児童は、帰宅後や休みの日、運動をしたり外で遊んだりすることが多い。	56
7	児童は交通ルールを守ったり、安全な生活ができるように気を付けたりしている。	80
8	児童は、早寝・早起き・朝ご飯・歯みがきの習慣が身に付いている。	78
9	児童は、授業中学習したことが身に付いている。	83
10	児童は、授業中しっかり話を聞いている。	92
11	児童は、毎日、宿題や家庭学習に取り組んでいる。	83
12	児童は、いろいろな学習を通して表現する力が身についた。	86
13	児童にとって校外学習や体験学習は効果的なものである。	100
14	児童は、学校へ行くのを楽しみにしている。	100
15	道徳の時間は、児童のためになっている。	97
16	児童に「いじめを許さない・見逃さない心」「思いやりの心」が育っている。	92
17	児童は、自分から読書に取り組んでいる。	50
18	児童は、学校の様子を話したり、困ったことを相談している。	75
19	児童は、家族や地域の人にあいさつをしている。	75
20	児童は、学校行事や児童会活動に進んで取り組んでいる。	100
21	児童は、田んぼの学校や地域・公民館の行事等で、地域の方々との関わりを大切にしている。	94
22	美田中学区の小中一貫教育の活動内容を知っている。	100

次年度に向けて

- ・項目6の帰宅後の運動や外遊びをして欲しいと望む保護者が比較的多い。児童自らが自分の体や健康について関心を持ち、運動の大切さを理解し、継続して運動できる力を育てていく。
- ・項目7の安全な生活への意識の向上については、児童の主體的な安全への意識を高めていく。地域全体に安全ボランティア等の協力を継続して仰ぐ。
- ・項目8は、家庭と連携し、よい生活習慣について児童が理解し、自ら進んで実践する力を身につけさせたい。歯みがき指導は学校でも行っており、正しい磨き方ができるようになってきた。
- ・項目9～12については、学習習慣が身に付くよう学習方法等を個別指導し、引き続き教職員が一丸となって、分かる授業づくりへの授業改善を進めていきたい。また、家庭学習においても、家庭と学校が連携を図りながら、児童の支援をしていきたい。
- ・項目17の家庭読書週間では、熱心に読書を行っているが、日頃から興味をもって読書に親しむ児童を家庭と連携して育てていきたい。
- ・項目18では、日々の学校生活の課題や学習の成果等を家庭に伝えられる力を身につけさせたい。家庭での話題のきっかけとなるよう、引き続き学校の様子を各種便りで伝えていく。